

人間の連想能力を生かして
好みの書物を探すウェブ検索
サービスを運営する国立情報
学研究所（NII、東京都千
代田区）の研究者、ボラン
ティアが、NPO法人「連想出
版」（代表＝高野明彦・NII
I教授）を発足させた。情報
全般を公共財とする考え方を
提唱し、電子媒体と伝統的な
活字媒体、双方の利点を生か
しながら、地域社会の情報化
支援や読書環境構築を行って
いく。（西田朋子）

次や紹介文といったひとかた
まりの文章から、関連性の高
い順に本探しができる検索シ
ステム「Webcat Plus」
（[http://webcatplus.nii](http://webcatplus.nii.ac.jp/)

選び出せる「新書マップ」
（<http://shinshunap.info>
）を構築した。ジャーナリ
ストや編集者ら約20人の「目
利き」が特に優れた約700

ード（文章も可）を打ち込め
ば、近似する10テーマが表示
され、関連分野を横断しなが
ら本を探せる仕組みだ。
こうしたノウハウや人的ネ

マップにかかわるボランティア
アスタップのほか、各地の図
書館や書店、古書店の関係者
ら約50人が集まった。
事業計画によると、「新書
マップ」の新刊

日本随一の（本の街・神保
町）全体の、地域の図書館も
含めた蔵書情報ネットワーク
構築を目指したい、という。
これは、時に不正確な情報
が回り、事実誤認に基づく
議論が一人歩きすることも珍
しくないネット空間に、編集、
校正といった手法で情報精度
を確保してきた活字メディア
のノウハウを持ち込む試み
だ。アナログ手法によって蓄
えられた知の情報のネットワ
ーク化によって、電子メディ
アの信頼性と利便性を高めて
いく発想ともいえる。

等の書籍化による収益などを
充てる。
NPOと協力して、未来型
図書館を志向する千代田図書
館では、「現在はウェブ上に
しかない（新書マップ）仮想本
棚」を現実に出現させたり、
本の街・神保町の総合案内カ
ウンター役を担ったりできれ
ば」（柳与志夫館長）と、楽
しい計画を練っている。
膨大に蓄えられた情報と、
創造的に向き合いたい。そんな
思いを共有するコンピュー
ターの専門家と愛書家、地域
が手を携えれば、近い将来き
つと、夢とぬくもりを感じさ
せる高度情報化社会が実現す
るに違いない。

目利きが選び 連想で絞る

愛書家 夢のネット検索

「ac.jp」を公開。

高野教授のグループは、全
国の大学図書館の書誌データ
をベースに、利用者が思い浮
かべる複数のキーワード、目

0タイトルをリストアップ
し、「コミュニケーション」
「国際社会と戦争」といった
約1000のテーマ別に分
類。利用者が何らかのキーワ

ットワークを社会貢献に役立
てていく」と、高野教授らは
NPO化を模索。東京古書芸
館（東京都千代田区）で先月
末に設立総会が開かれ、新書

検索を使った新刊書店向け
図書検索システム開発援助
」などに取り組んでいく。
将来的には大小の古書店、
出版社、新刊書店が立ち並ぶ

活動資金には、「新書マッ
プ」掲載の「目利き」による
読書ガイド、ウェブマガジン

等

NPO発足

データ更新のほ
か、当面は▽区
立千代田図書館
改築に伴う読書
環境デザイン支
援▽神田古書店
連盟HPへの技
術支援▽「連想

出版

等